LXF-289 □胞

300269

LxF-289□胞株は、63歳の男性患者から樹立されたヒト肺腺癌 □胞株である。この□胞株の倍加時間は約50時間で、安定した□胞増殖を必要とする研究に適している。 LxF-289は肺癌、特に非小□胞肺癌（NSCLC）に焦点を当てた研究において、癌の進行、治療抵抗性、治療介入の効果の根底にある分子機構を研究するための強固な in vitroモデルを提供するので、特に価値がある。

LxF-289の研究は、この□胞株が特定の遺伝子操作や治療操作に反応する特徴を示すことを示してきた。例えば、 LxF-289は他の肺癌□胞株とともに、アンチセンス熱ショック蛋白70（Hsp70）を発現するアデノウイルスで処理すると、著しい □胞死を起こすことが研究で示されている。この □胞死はp53非依存性であり、DNA切断を必要としないことから、Hsp70が肺がん□胞の生存に重要な役割を果たしていることが示唆された。注目すべきことに、この反応はがん□胞に選択的であり、正常な肺線維芽 □胞や気管支上皮□胞は、Hsp70がダウンレギュレートされると同レベルの □胞毒性を示さないことから、肺がん治療において Hsp70を標的とする可能性が強調された。

さらに、LxF-289は薬剤耐性関連蛋白質に対する放射線照射の影響を研究するために使用された。この □胞株は放射線照射後、mRNAおよびタンパク質レベルの両方でグルタチオンS-トランスフェラーゼ（GSTπ）の過剰発現を示した。この過剰発現は、肺癌の臨床管理における重要な課題である多剤耐性の発現と関連している。これらの知見は、耐性のメカニズムを探り、それを克服するための新しい戦略を検証する上で、 LxF-289の有用性を強調するものである。

概要

□明

LxF-289□胞株は、63歳の男性患者から樹立されたヒト肺腺癌 □胞株である。この□胞株の倍加時間は約50時間で、安定した□胞増殖を必要とする研究に適している。 LxF-289は肺癌、特に非小□胞肺癌（NSCLC）に焦点を当てた研究において、癌の進行、治療抵抗性、治療介入の効果の根底にある分子機構を研究するための強固な in vitroモデルを提供するので、特に価値がある。

LxF-289の研究は、この□胞株が特定の遺伝子操作や治療操作に反応する特徴を示すことを示してきた。例えば、 LxF-289は他の肺癌□胞株とともに、アンチセンス熱ショック蛋白70（Hsp70）を発現するアデノウイルスで処理すると、著しい □胞死を起こすことが研究で示されている。この □胞死はp53非依存性であり、DNA切断を必要としないことから、Hsp70が肺がん□胞の生存に重要な役割を果たしていることが示唆された。注目すべきことに、この反応はがん□胞に選択的であり、正常な肺線維芽 □胞や気管支上皮□胞は、Hsp70がダウンレギュレートされると同レベルの □胞毒性を示さないことから、肺がん治療において Hsp70を標的とする可能性が強調された。

さらに、LxF-289は薬剤耐性関連蛋白質に対する放射線照射の影響を研究するために使用された。この □胞株は放射線照射後、mRNAおよびタンパク質レベルの両方でグルタチオンS-トランスフェラーゼ（GSTπ）の過剰発現を示した。この過剰発現は、肺癌の臨床管理における重要な課題である多剤耐性の発現と関連している。これらの知見は、耐性のメカニズムを探り、それを克服するための新しい戦略を検証する上で、 LxF-289の有用性を強調するものである。

ティッシュ	肺
病気	腺癌

同義語

- LxF289
- LxF 289
- LxF 289L

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

識別子

引用

LxF-289 (Cytion カタログ番号 300269)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1394

発現と感受性

逆転写酵素	ネガティブ

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w: 2.0mM安定グルタミン、w: 2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37°C、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml、T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml、T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、 □胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、 □胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	1×10^4 □胞/ml
流体の更新	3~5日ごと
解凍後の回復	24時間から48時間

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10%DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	62年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB